

平成 20 年度高知県登録販売者試験における不適切問題について

午後の部 問 8 1

問 81 次の記述は、医薬品に関するものである。店舗販売業の店舗において登録販売者が販売した場合、薬事法に照らして、違反とならないものを「正」、違反となるものを「誤」として、正誤の組合せが正しいものを下欄から選びなさい。

- a 医療用医薬品。
- b 製造販売承認申請の際、厚生労働大臣が承認を行うにあたって、あらかじめ、薬事・食品衛生審議会の意見を聴く必要があるとされた医薬品であって、当該申請にかかる承認を受けてから厚生労働省令で定める期間を経過したもの。
- c 第二类医薬品。
- d その副作用等により日常生活に支障を来たす程度の健康被害が生ずるおそれがある医薬品のうちその使用に関し特に注意が必要なものとして厚生労働大臣が指定するもの。

下欄

	a	b	c	d
1	正	正	正	正
2	誤	誤	正	誤
3	誤	正	誤	誤
4	誤	誤	誤	正
5	誤	正	正	誤

採点上の取り扱い

全員を正解として採点する。

理 由

b の記述の解釈により、解答が異なるため。
厚生労働省令で定める期間を経過したことをもって第一類医薬品ではないと判断するには、設問の記述だけでは不十分であり、正誤の判断ができない恐れがあるため不適切と判断しました。

午後の部 問94

問 94 次の記述は、一般消費者に対する毒薬及び劇薬の譲渡手続きに関するものである。()に入れるべき字句の正しい組み合わせを下欄から選びなさい。

毒薬又は劇薬については、譲受人から、その(a)、数量、使用目的、譲渡の年月日並びに譲渡人の氏名、(b)及び(c)が記載され、厚生労働省令で定めるところにより作成された文書の交付を受けなければ、これを販売し、又は授与してはならない。

下欄

	a	b	c
1	成分名	住所	職業
2	成分名	職業	連絡先
3	品名	連絡先	職業
4	品名	住所	連絡先
5	品名	住所	職業

採点上の取り扱い

全員を正解として採点する。

理 由

「譲渡人」は「譲受人」とすべきであったため譲渡手続きとして、譲受人から交付を受ける文章に記載が求められているのは、「譲渡人」の氏名等ではなく、「譲受人」の氏名等であるため、設問自体が成り立たず、不適切と判断しました。